

平成26年度保健師中央会議

統括的役割を担う保健師に期待される役割
～組織横断的な会議を活用して～



島根県立大学看護学部
永江尚美

本日の内容

1. 統括的保健師配置の背景
2. 保健師総体に求められているもの
3. 統括的保健師に期待されている役割
4. 統括的保健師に求められる資質
5. 統括的保健師の役割を発揮するために





統括的保健師配置の背景

統括的保健師配置の背景・必要性

社会情勢の変化

- 保健活動に係わる各種の法整備
- 保健師活動体制の充実強化
- 保健師の分散配置
- 市町村合併
- 地方分権の推進

等々

保健師の分散配置の背景・必要性

○児童虐待防止対策

⇒ 産後うつ支援・子育て支援・発達障害児支援

○生活習慣病予防及び重症化予防対策

⇒ 特定健診・特定保健指導の導入

○自殺予防対策、メンタルヘルス対策

⇒ 地域・職域連携、精神障がい者支援、自死遺族支援

○介護予防対策・認知症高齢者対策

⇒ 地域包括ケアシステムの推進

○健康危機管理体制の強化 等々

統括的保健師配置の根拠

○地域における保健師の保健活動について

2013. 4.19 厚生労働省健康局長通知

『都道府県及び市町村は、保健師が、住民に対する保健サービス等の総合的な提供や、地域における保健、医療、福祉、介護等の関係部門に保健師を適切に配置すること。加えて、保健師の保健活動を組織横断的に総合調整及び推進し、技術的及び専門的側面から指導する役割を担う部署を保健衛生部門等に明確に位置づけ、保健師を配置するよう務めること。』



保健師総体に求められているもの

保健師総体に求められているもの

保健師に求められる実践能力

(厚生労働省:2012.4～)

1. 地域の健康課題の明確化と計画立案する能力
2. 地域の健康増進能力を高める個人、家族、
集団、組織への継続的支援と協働
3. 地域の健康危機管理能力
4. 地域の健康水準を高める社会資源開発・シス
テム化・施策化する能力
5. 専門的自律と継続的な質の向上能力

保健師総体に求められているもの

地域活動の実践において求められているもの

- ・専門性を生かした保健活動の進め方
- ・地域で支える保健活動の体制づくり
- ・まちづくりの視点を重視した関係者の人材育成

では、

1. 保健師の専門性とは？
2. 地域をつなぐ視点をもち続けるためには？
3. 地域を見る視点をもち続ける人材育成は？

保健師の保健活動の方向性

—地域における保健師の保健活動に関する指針から—

- 1) 地域診断に基づくPDCAサイクルの実施
- 2) 個別課題から地域課題への視点及び活動の展開
- 3) 予防的介入の重視
- 4) 地区活動に立脚した活動の強化
- 5) 地区担当性の推進
- 6) 地域特性に応じた健康なまちづくりの推進
- 7) 部署横断的な保健活動の連携及び協働
- 8) 地域のケアシステムの構築
- 9) 各種保健医療福祉計画の策定及び実施
- 10) 人材育成

改めて保健師の活動は……

- 地域を基盤に
- 地域に生活する人々の主体的な健康づくり活動を支援し、
- 関係機関(関係者)と協働・連携した活動を推進する



地域の問題、地域特性等の把握し
今後発生しうる健康課題を予測し
課題解決の具体的方法の整理・実践・評価する



PDCAプロセスの活動展開の重視
基本視点に基づく活動展開のできる人材育成

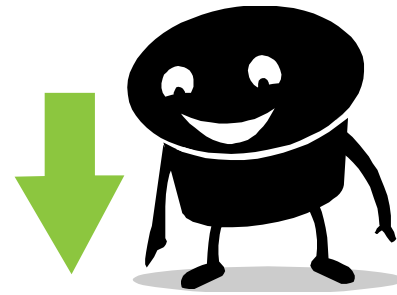
では、担当業務・担当地域を 振り返って見ましょう！

- 地域を捉えた関わりをしていますか…？
- 住民との対話を重視していますか…？
- 地域に暮らす人々の生活を見ることに心がけていますか…？
- 地域に暮らし生活する子ども・障がい児(者)・高齢者・すべての人々の健康が保たれていますか…？
- 保健師の専門性を活かした展開ができる組織体制になっていますか…？
- 地域としての問題解決の力量は向上していますか？

分散配置先でも求められる保健師の役割

保健師は(保健師の専門性は)、個別性と共に公共性を高める役割を持つ ← 基本！！

- 健康問題を持つ住民に、個別的な支援を行うと共に地域が変わるように住民に働きかける
- 地域や人々の生活実態やニーズをできるだけ総合的に捉え、法定事業を活かして、施策化する
- 住民、関係者等と協働し解決する方策について話し合い、地域を動かすきっかけをつくる
- 地域の人的資源、社会資源の活用と創出し、公共性の高い地域社会づくりを支援する



統括的保健師に
期待されている役割
統括的保健師に
求められる資質

—保健活動に関する指針から—

「(4)連携及び調整」等に関する記載内容

1 都道府県保健所等

管内における保健、医療、福祉、環境、教育、労働衛生等の関係機関及び関係者の広域的な連携を図るために、所属内の他の職員と協働して協議会等を開催し、その運営を行うこと。また、管内の市町村間の連絡、調整を行う

2 市町村

保健所や当該市町村の保健、医療、医療保険、福祉、環境、教育、労働衛生等の関係者、関係部局及び関係機関との連携を密にし、総合的な調整を図り、効果的な保健活動を展開する

3 都道府県、保健所設置し、特別区及び市町村の本庁

保健師の保健活動の総合調整等を担う部署に配属された保健師は、住民の健康の保持増進を図るための様々な活動等を効果的に推進するため、保健師の保健活動を組織横断的に総合調整及び推進し、人材育成や技術面での指導及び調整を行うなど統括的な役割を担う

統括的保健師が果たしている役割

-2010(H.22)年の日本看護協会の調査から-

役割の項目:50%以上の回答項目 (全体回答での上位順に記載)	全体	都道府 県	保健所 設置市・ 特別区	市町村
スタッフからの相談への対応	83.3%	73.8%	81.8%	84.5%
業務(保健師活動)における技術的な指導	70.9%	65.2%	72.9%	66.9%
業務分担や業務量の管理	69.8%	52.7%	64.0%	74.8%
所属組織内での部署を越えての連絡調整や連携	68.9%	65.2%	69.6%	68.8%
健康課題の明確や事業計画の立案・実施・評価	62.5%	56.6%	59.5%	64.4%
所属組織を越えた(他組織)との連絡調整や連携	58.8%	61.6%	57.9%	59.4%

統括的役割を担う保健師の位置づけ

統括的保健師の位置づけは、自治体により、職位も含め異なりますが、下記内容の位置づけが望まれます

■自治体組織として認識されている

- 人事部門に統括的役割の保健師の配置が承認されている
- 配属先組織の事務分掌に「統括的保健師の役割を担う」ことが明記されている
- 組織横断的な検討に係わる全庁会議等への参画が位置づけられている
- 統括的保健師の役割を担うための研修受講が認められている

統括的な役割を担う保健師に 求められている総体的役割

1. 組織横断的な調整、会議の運営
2. 健康危機管理対応(総合調整)
3. 効果的な保健医療福祉対策の推進
(庁内関係部署・庁外関係機関との連携)
4. 人材育成
5. 働きやすい職場環境づくり
(ワークライフバランス)

統括的保健師に求める基本的な資質

1. 地域を見る視点
2. ニーズ、ウオント、ディマンドの関係性を見る視点
3. 政策・施策・事業・業務体系を確認していく視点
4. 住民・関係者との協働体制を大切にする視点
5. 住民のQOLの向上を基盤にした視点
6. 保健・医療・福祉を総合的に捉える視点
7. 母子から高齢者をトータルとしてみる視点
8. 学び学び合う視点(住民、同僚、関係者から)

+保健師としてのこだわり

統括的保健師の 役割を発揮するために



統括的保健師の役割を果たすために

1. マネジメント機能
2. 信頼関係・人間関係づくり …… 関係部署・機関
3. 相手の立場で相談支援
4. フットワーク(御用聞き的) …… 情報収集
5. 「優しさ」と「厳しさ」
6. 「あとで」よりも「今」を大切に
7. 人材育成 …… わかり合うことの大切さ
8. 自らとつなぐ・相手につなげる・皆がつながる
9. 行動化を図る
10. 統括保健師としての意識を持つ

統括的な保健師が 役割を発揮するために

本人の役割意識と仲間の支えが大切
この指止まれの指上げの役割意識

+

この指止まれにとまっていく協働

→仲間の支える意識

→統括保健師の重要性を伝える努力

統括的な保健師の役割:

— 組織横断的な調整を図るために —

1) 定期的な情報交換・協議の場設定

⇒ 地域の健康課題の共有に

⇒ 保健活動の全体像の把握に

2) 各種保健福祉医療計画の計画策定への関与

⇒ 関係部署における将来構想の把握に

⇒ 保健活動全体の効果的統括と調整の手段に

3) 統括的保健師であることの積極的な発信

⇒ 組織・関係者への認識と位置づけの明確化に

⇒ 保健活動組織体制の強化に



統括的な保健師の役割:

—組織横断的な会議の場設定に向けて—

1) 統括保健師は分散配属先上司に協力理解を求める

- 保健師が共通認識することによる効果
「連携・協働」「説明責任」「予算の相互活用」
- 円滑なジョブローテーションに向けての推進効果
- 各保健福祉事業を総合的に捉えた活動効果

2) 保健師が組織横断的な会議の重要性を認識する

- 上司に重要性を説明し理解を得ると共に、必ず会議内容の報告をする
- 全員参加の会議、リーダー等の調整会議等、方法や開催スケジュール等を検討し共通確認をする

統括的な保健師の役割：人材育成



～ウェルネス志向で考えてみると～

■新人期の強みは

学びが新鮮、意欲に輝き(やる気、する気)

⇒ いかに継続させるか、環境を作るのか

=新人期の課題は=

- ①担当地区を知ろうと努力している
- ②担当業務を理解しようと努力している
- ③頑張っている姿を見せようと努力している

努力を認め、
褒めること
新たな挑戦を

統括的な保健師の役割：人材育成



～ウェルネス志向で考えてみると～

■中堅期の強みは

仕事へのおもしろさの出現、新たな業務へのやる気

仕事の幅が広がり、関係者とのつながりも増大

つながりや経験を通して生活者や新人の気持ちが分かる

⇒ いかに活かす場を作るか、やる気を促し続けるか、
次期係長・リーダーへのステップ

= 中堅期の課題は =

①新人を育てようと努力している

②課題を明確にして事業化につなげる努力をしている

③育児経験を活かした活動につなげる努力をしている

努力を認め、
褒めること
役割の認識を

統括的な保健師の役割：人材育成



～ウェルネス志向で考えてみると～

■管理期の強みは

管理者としてのやる気、円熟している、部下から親しまれる、信頼される心地よさ、関係者との関係の広がり
様々な相談対応を通して、当事者及び関係者・後輩への支援策が豊富となる

⇒ 経験・能力を活かす立場を作るか
次期課長・次長・部長へのステップ

努力を認め、
褒めること
自ら意識化を

＝管理期の課題は＝

- ①係員、課員の悩みを把握しようと努力している
- ②関係部署、関係機関との連携・調整に努力している

まとめ

統括的な保健師の役割は、1人ひとりの保健師に求められる役割でもある。

新人期は新人期として、担当業務・担当地域を通して関係者との連携・調整の役割を担い、中堅期は、幅広い関係機関との調整、後輩育成に向けての関係者との調整等の役割を担い、管理期は、対外的な調整も含めて保健福祉医療全般に係わる施策の推進に向けて調整機能の役割を担う。人材育成は、その基盤となる。

ご清聴有り難うございました



「オロリン」

公立大学法人島根県立大学マスコットキャラクター